

令和7年度札幌市アイヌ施策について



アイヌ文化交流センター
展示室



アイヌ工芸品等常設販売店（ポロセ）

札幌市

令和7年度アイヌ施策推進費の概要

【アイヌ施策推進費】

(単位：千円)

	R6年度	R7年度	増減 (R7-R6)
予算総額	292,726	543,284	250,558
▶うちアイヌ政策推進交付金対象事業費	113,142	125,974	12,832
▶交付金の額（対象事業費の8/10）	90,513	100,779	10,266

※ R7年度予算の主な増額要因は共同利用館後継施設整備費（265,000千円）の増額（うち249,044千円は土地所管換費、15,956千円は基本設計費）によるもの。

施策目標 1：アイヌ文化の保存・継承・振興

推進施策 1：アイヌ文化の継承と人材育成

R 7 年度予算額：5,038千円（R 6 年度：5,010千円）

① アイヌ文化の保存・継承・振興活動等への補助

札幌アイヌ協会が実施するアイヌ民族の交流を促進する活動やアイヌの子弟に対する学習支援活動、アイヌ民族の現状や人権等に関する講演の開催、アイヌ文化に関する啓発活動などの事業に対する補助を行う。

② インカルシペ・アイヌ民族文化祭開催の支援

札幌アイヌ協会が開催するアイヌ民族の文化や歴史を発信する事業、アイヌ民族の若者による会員相互の交流・アイヌ文化伝承に関する事業、アイヌ民族の音楽文化を普及啓発する事業に対する補助を行う。

③ アイヌ文化体験講座（担い手育成）の実施

アイヌ文化の保存・継承・振興に係る活動への意欲喚起や意欲向上を目的とした講座を開催する。

④ 高齢者（エカシ・フチ）の歴史体験記録

アイヌの高齢者「エカシ」「フチ」が有する知識・経験を記録として整理し、アイヌ民族の文化伝承活動に活用する。

施策目標 1 : アイヌ文化の保存・継承・振興

推進施策 2 : アイヌ民族の伝統的な生活空間（イオル）の再生
R 7 年度予算額 : 4, 629 千円（R 6 年度 : 4, 446 千円）

① イオル再生事業の実施

伝統文化活動に必要な穀物などの自然素材を育成するとともに、市民を対象とする自然素材を活用したアイヌ文化の体験交流講座等を開催し、事業への従事などを通じた人材の育成を図る。

② 国有林野における林産物採取

国有林野において、アイヌ文化の保存・継承・振興のために使用する林産物を採取できる体制を確保する。



アイヌの民具づくり体験
エムシアッ風のミニタペストリー



アイヌの伝統料理
調理体験



アイヌの子ども遊び体験
弓矢づくり

施策目標 2 : アイヌ民族に関する理解の促進

推進施策 1 : アイヌ民族に関する啓発活動の推進

R 7 年度予算額 : 29,419千円 (R 6 年度 : 23,442千円)

① アイヌ文化体験講座（市民向け）の実施

アイヌ文化交流センター等で、アイヌ文様刺しゅうや木彫りなど、アイヌ伝統文化の体験講座を開催することにより、アイヌ文化への理解を促進する。

② 大型イベントと連携した情報発信

大通公園などで開催される大型イベントにおいて、アイヌ民族の伝統楽器の演奏や歌、踊りなどを披露する機会をつくる。

③ アイヌアートモニュメントの制作・展示

市民と作家が共同で制作した作品や作家が制作した作品を、市内の公共空間などにおいて展示する。

【新規】④ アイヌ語地名看板の設置

市民や観光客にアイヌ文化を身近なものと感じてもらうために、市内各所にアイヌ語由来の地名を紹介する看板を設置する。

【新規】⑤ アイヌ人権啓発事業

アイヌ民族に対する差別や人権侵害を解消するため、市民・事業者を対象としたアイヌ文化・歴史等への理解を促進する講座やパネル展を開催する。
また、アイヌ生活・教育相談員について、周知を進める。

⑥ アイヌ文化を発信する空間の管理運営

アイヌ文化を発信する空間（ミナパ）の管理運営を行い、展示物や映像コンテンツの入れ替えなどを行いながら、継続的にアイヌ文化への理解の促進を図る。

施策目標２：アイヌ民族に関する理解の促進

推進施策２：アイヌ民族の歴史の尊重と教育施策の充実

R 7 年度予算額：30,315千円（R 6 年度：30,382千円）

① 小中高校生団体体験プログラムの実施

アイヌ文化交流センターにおいて、小中高校生に伝統楽器・古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験、展示解説などを実施する。
また、アイヌ文化交流センターに来館するための送迎バスを用意する。

② 小中高校生団体出前体験プログラムの実施

アイヌ文化交流センターへの来館が困難な学校に出向き、伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験などを実施する。

③ 課長職への研修の実施

札幌市の新任課長等を対象として、アイヌ民族の歴史・伝統文化や現在置かれている状況、国の動向や人権などに関する研修を実施する。

④ 新採用職員への研修の実施

新採用職員を対象として、アイヌ民族の歴史・伝統文化、人権などに関する基礎研修を実施する。（主催：総務局職員部人材育成担当課）

⑤ 民族教育の充実（ムックリ体験等）

アイヌ民族の歴史・文化などへの興味・関心を高めるために、団体出前体験プログラムなどにおける伝統楽器「ムックリ（口琴）」の体験機会の提供や「トンコリ（五弦琴）」の学校への貸出を行う。

施策目標 3：体験・交流の促進

推進施策 1：札幌市アイヌ文化交流センターの魅力創出

R 7 年度予算額：116,224千円（R 6 年度：117,591千円）

① アイヌ文化交流センターの運営等

アイヌ文化交流センターにおいて、来館者にアイヌ民族の伝統的な生活様式や文化などの紹介及びアイヌ文化を身近に感じる機会を創出し、アイヌ文化の保存・継承・振興を図る。

② アイヌ文化体験コーナー

刺しゅう・木彫り・ストラップ・ペーパークラフトの制作や衣装体験など、来館者が気軽にアイヌ文化に触れる機会を創出する。

③ システム・機器のリニューアル

平成15年の開館以来、老朽化し多言語対応していない映像ガイダンス機器や交流ホール等の音響機器を更新するとともに、定期的にコンテンツも入れ替える。

④ 庭園リニューアル

アイヌ文化ゆかりの植物を植栽することに加え、外来植物の除去などを行い、アイヌ文化を発信する場としてより相応しくなるようにリニューアルする。

施策目標 3：体験・交流の促進

推進施策 2：アイヌ文化の体験・交流の機会創出

R 7 年度予算額：3,157千円（R 6 年度：1,689千円）

① アイヌ文化交流センターイベントの実施

アイヌミュージック・古式舞踊の鑑賞、制作体験、子ども遊びやアイヌ料理試食等を実施する。
令和7年度からは、冬期間も新たに実施することとし、アイヌ料理試食を毎回実施する予定。



② アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）の実施

アイヌ文化交流センターにおいて、6月の儀式（サッポロピリカコタンノミ）終了後、来館者を対象としたアイヌ民族の古式舞踊（輪踊り）体験を実施する。



アイヌ文化交流センターイベント

施策目標 4：産業等の振興

推進施策 1：アイヌ文化のブランド化の推進

R7年度予算額：24,909千円（R6年度：27,211千円）

① 工芸品等の常設販売店（アイヌ文化PRコーナー内）の運営

令和6年12月に地下鉄南北線大通駅コンコース横にアイヌ文化PRコーナーを移設し、その機能の一つとしてアイヌ工芸品等常設販売店（ポロセ）を設置。

アイヌ工芸品等の魅力を発信し、店舗への誘客を図るため、ワークショップ等のイベントを開催する。

② アイヌ文化のブランド化推進

伝統的なアイヌ工芸品等のブランド化推進やマーケティング強化の取組として、①の常設販売店を通じて消費者のニーズや効果的な工芸品の商品化に向けた分析を行うほか、これまでに制作したPR映像を活用したプロモーション活動などを行う。

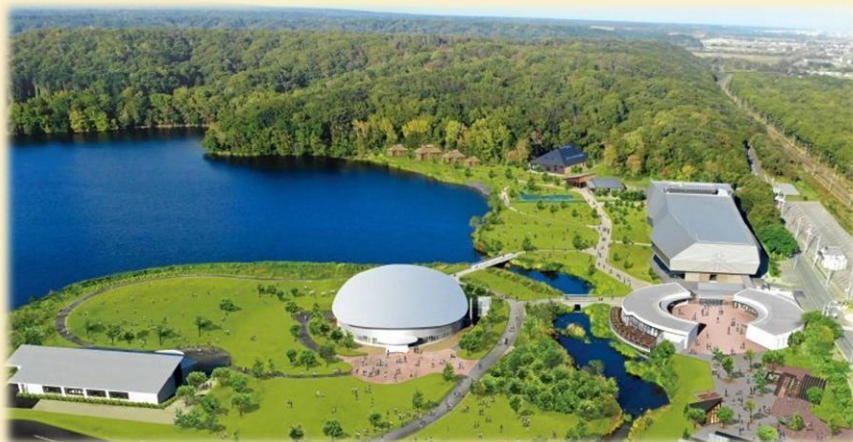


常設販売店（ポロセ）ロゴマーク

施策目標 4：産業等の振興

推進施策 2：アイヌ文化に関する観光プロモーションの推進
R 7 年度予算額：9,527千円（R 6 年度：7,114千円）

ウポポイ（民族共生象徴空間）や市内関係施設等を活用したアイヌ文化の発信
アイヌ文化に関する理解の促進を図るため、ウポポイやアイヌ文化交流センターなどを巡るバスツアーを実施する。



ウポポイ



施策目標 5：生活関連施策の推進

推進施策 1：生活環境等の整備

R 7 年度予算額：300,230千円（R 6 年度：50,572千円）

① 住宅新築資金等の貸付

アイヌ民族の居住環境の整備・改善のため、住宅の新築・改修や宅地取得に必要な資金貸付を行う。

② アイヌ生活相談員・アイヌ教育相談員の配置

アイヌ生活相談員を2名配置し、様々な相談に対応する（アイヌ文化交流センターに1名、共同利用館に1名配置）。

アイヌ教育相談員を1名配置し、教育に関する相談に対応する（教育委員会がアイヌ文化交流センターに配置）。

③ アイヌ民族の児童・生徒への学習支援

夏休み・冬休み期間に、アイヌ民族の児童・生徒に対する学習支援を行う。

【新規】④ 札幌市共同利用館後継施設整備事業

老朽化が進んでいる共同利用館の後継施設を整備する。内閣府のアイヌ政策推進交付金の対象となるためには、令和10年度までに供用開始することが求められており、今後、令和8年度までに設計を終え、令和9年度から新築工事、令和10年度中に供用開始を予定している。

その他の予算 R 7 年度予算額：19,836千円（R 6 年度：25,269千円）

[主な項目]

事務費（職員人件費・備品購入費）、大通交流拠点地下広場（アイヌ文化PRコーナー）の維持管理費、共同利用館の運営費、アイヌ施策推進委員会開催に係る諸経費、アイヌ住宅貸付関連経費 など